

目銀所長のあさひかわ菜

「人生に必要なものは、

勇気と想像力、それとほんの少しのお金だ」

二十世紀最大級の映画王である宮川王チャールズ・チャップリンは、ご存知のとおり、自ら出演した多くの作品を世に出しましたが、「ライムライト」という映画の中で標榜のようにつづ語っています。

実は、この発言の直前にもう一言、いい言葉を語っています。それは、「人生は、恐れをしなければ」と

も素晴らしいものなのだ

よ」というものです。足に

障害があり、将来を悲観視

していた若きチャップリンに

対して語ったものですが、

世界的な金融・経済危機の

真ん中で、「最大の脅威

は、恐れそのものだ」とは、

過去を含めたたびたびリー

ダーが口にしてきたことで

す。

さて、そこで標榜の言葉

について私なりの解釈で

す。価値ある人生を送るた

めには、まずは豊かな想像

力を働かせる。夢を抱くと

言ってもい

いかも知れ

ませんね。そ

して、その夢

を実現する

ために勇気

をもって実

行する。その

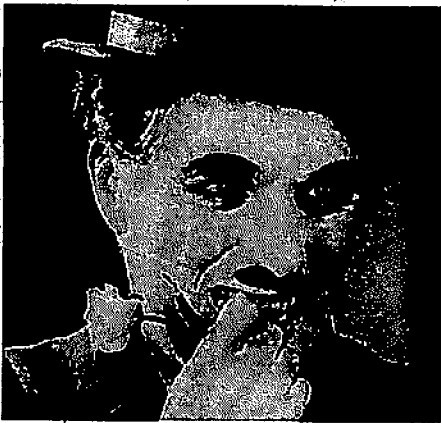
前提として

幾ばくかの

経済力は必

要であるが、

大金はいら



チャップリンの映画「街の灯」より

ない。そのようなことをチャ

ップリンは映画を通じて

我々に語りかけているよう

に思います。現に、映画の

中で、若きチャップリンは自

らの内面にある力を奮い立

たせ、見事に復活しました。

この世の中には、お金で

買えない大事なことはた

さんあります。例えば、信

頼、友情、愛、時間など。

しかし、現代社会の中で、

やはり最低限のお金は必要

でしょう。それをいかに有

効活用して、それぞれの夢

実現のために一歩前に出る

か。実は、これは個々の人

生の目標であると同時に、

「地域経済」にとっても重

要なことではないでしょう

か。

「地域経済に必要なもの

は、勇気と想像力、それと

ほんの少しのお金だ」

現下の経済情勢の中でな

かなか厳しいものはありま

すが、「想像力」と一歩前に

踏み出す「勇気」、今はこれ

れらが求められている時は

ないのではないでしょう

か。

(日本銀行旭川事務所長

※毎月第一週に掲載します

尾崎啓三(おき へいぞう)さん 一九五八年(昭和三十三年)東京生まれ。八二年(同五十五年)日本銀行に入行。米國ワシントンでの勤務や、橋本内閣の行政改革会議事務局への出向、後援人地企業振興会を経て、〇七年(平成十九年)から旭川事務所長。趣味は音楽全般、ミュージカル鑑賞、社交ダンス。